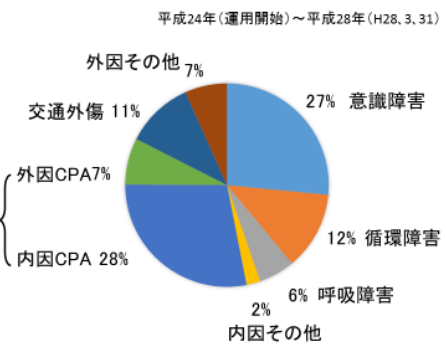


病院前新聞

6月の出場件数
 出場件数 48件
 内キャンセル 16件



6月14日に中津川警察署にて感謝状を頂きました。

病院前救急診療科開設してから平成28年3月までに263件の心肺停止事案に出場しました。出場の内103件病院搬送・160件ご自宅にてお看取りという実情になっています。

警察との関わりに関しては、国の決まりで検視せざる終えない心肺停止事案もあり、病院前救急診療科として多くの検視に立会った実績を評価され感謝状を頂く事になりました。

感謝状と共に、病院前救急診療科間渕部長と麻酔科&救急科松本部長には、『検視立会医委嘱証』を頂く事になりました。

NEMAC
が来たら
お金が
高くなる
のかな？



N E M A C が出場する事です。ごく費用が掛かるといった誤解が少しありますので、事例をあげて説明します。

* 救急車にて**病院搬送**され、お看取りした場合3割負担で約**2万2千円**程の費用が発生します。その後、検視が入る場合は、検視が終了するまで約**2、3時間**病院で待機する事になります。

* N E M A C にて、**自宅**でお看取りした場合3割負担で約**1万8千円**程の費用が発生します。その後、検視が入る場合は、検視が終了するまで**自宅**で待機する事になります。

左記の事例に関しては、お看取りとなつた方で保険診療3割負担で病院と自宅と同じ様な医療を受けた場合の例です。

保険証が提出されていない場合は、**10割負担の請求**となります。また、医師が現場で診察する時にすでに身体が硬くなつていた場合や亡くなつていた場合は、保険診療の適応ではなく10割負担となります。

救急車とは違い、N E M A C が出場する事で、**救急搬送診療料**が発生するのみで、薬品や処置の費用に関しては、現場で行つても、病院で行つても同じです。ので、N E M A C が出場する事で医療費が高額になるという事はありませんので、ご安心ください。